

水牛通信

VOL.3 NO.2
毎月1回・10日発行
定価200円

人はたがやす 水牛はたがやす 稲は音もなく育つ

イェス伝
マダン劇

《ハントゥレ》共同作

23

歌のなかに流れる抵抗精神

伊東浩

17

枢機卿にささげる手紙

光州事態拘束者家族一同

14

『ジット・プミサック』

12

'80引退騒動記

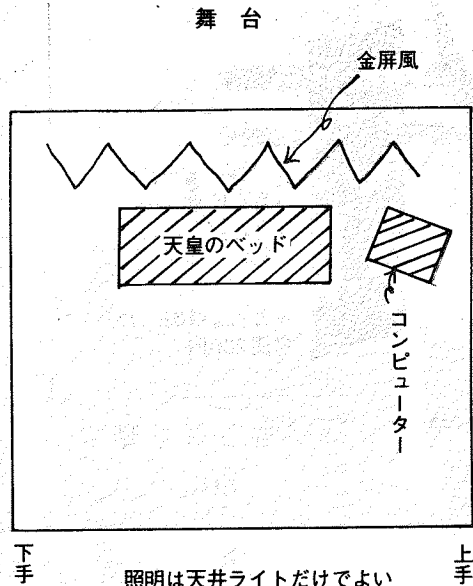
現代社会・文化研究所

2

'80引退騒動記

現代社会・文化研究所

*コンピュータの正面の開口部からは
トイレペーパーが出るようになっていた。



登場人物

- | | |
|------------------|------------|
| 天皇 | 安川判事の妻 |
| 朴の幽霊 | 安川判事の娘 |
| バーレビの幽霊 | 山口百恵 |
| コンピューター | 土方(男) |
| 越路吹雪 | 土方(女) |
| 鶴田浩二 | 長島 |
| 渡部昇一 | 王 |
| 大西巨人 | 嵐寛寿郎(鞍馬天狗) |
| ステイヴィウ・マックイーンの精子 | スギサク |
| マックイーン | 障害者A |
| マックイーンファン | 障害者B |
| | 民衆(多数) |

【第一場】

舞台中央奥に、金屏風を背に天皇のベッドが置かれている。ベッド上にはすでに天皇が眠っている。ベッドの右側にコンピューターがある。

舞台照明しだいにあかるくなる。電子音楽が鳴り響く。

コンピューター ここは天皇陛下の御寝室です。二十畳のタップリとしたひろさ、みまごうばかりの金屏風、そして金びかりのベッドに羽ぶとん。ケヤキの柱があります。ぐっすり眠っておられる陛下。ところがなにやらあやしい気配です。

電子音にかわって笛と太鼓による幽霊登場の音楽鳴る。

朴（頭に三角巾をつけ、白装束の幽霊スタイル）上手より登場。

コンピューター あれは韓国の元大統領バクチョンビ。

バーレビ（白い布を頭からかぶり、白衣装束の幽霊スタイル）同じく上手より登場。

コンピューター そしてイランの元国王バーレビ。

音楽鳴り終わる。朴とバーレビ、天皇をさきまようにして舞台の

前、左右にならぶ。

朴 やあ、バーレビはん、地獄に来るのが少し遅かったでんな。私は在職中に殺されてしまい実に残念でした。しかし、私の後をおそった全斗煥は私よりはるかに偉大な独裁者ですわ。その証拠にあの光州の弾圧をみなはれ。金大中に死刑を宣告するだけではなく、私の仲間すら政治活動停止でんがな。いやあ、実にたいした独裁者だ。私なんかよりも国民をどう扱うかよく知っていますよ。

バーレビ 朴さん、私は独裁者じゃございませんよ。私はイランをヨーロッパ諸国なりに引き上げるのに努力したんでございます。日本の明治維新のように。日本と同じあの近代化は国民への愛だったので。しかし、私の愛を国民は理解しなかつたんですよ。

朴 違いますな、バーレビさん。私も近代化をやりました。日本の維新体制と同じようにね。国民には愛などいりません。抑えつければ抑えつけるほどよろしくおま。弾圧、これあるのみ。ところでバーレビさん、あなただっけっこうひどい弾圧をやったんでっしやる？

バーレビ 愛を装って、国民の幸福を求めるホーズをして弾圧するのもおもしろかったですよ。財産もガッホガッホ私のふところ。ころがりこんできました、（バーレビ。眠っている天皇をみる）それにしても、この天皇はうまくやっているようにみえますね。

朴 そうですな。
バーレビ はたしてわれわれのような運命をたどるのでしょうか？

二人、天皇のベッドに接近する。すると突然、音楽「パワースングバンド・水平線」の「逆流」が流れます。朴とパレレビ、こそこそと怯えながら下手に退場。天皇、音楽にうなされ、うめく。そして起き上る。

天皇 うー、うー。不吉な夢じゃな。(ベッドからおりて右にすすみ) わしの運命は、韓国の道か(左にすすみ)イランの道か(右にひきかえし)超独裁か(左にすすみ)革命か(ふたたび右へ)右か(左へ)左か、ああ右往左往。わしの運命をコンピューターで占ってみよう。

天皇、コンピューターの前にいき、ビッピビッとコンピューターのボタンをおし、コンピューターの開口部からでているトイレットペーパーをくり出す。(以下、天皇がコンピューターを扱うときは同じ) 音楽、鳴り止む。

コンピューター 光明皇后の昔から、天皇は民衆に福祉を施してきました。ちょうど来年は国際障害者年にあたります。障害者にも天皇の仁慈を施さない。障害者を切りすてておいて、それから仁慈を垂れるのです。国民は感激して、一生あなたを崇拜するでしょう。天皇制、パンパンサイ。

天皇 たわいないものじゃ。それにしても世の中にはうるさい奴がいる。コンピューターに全部リストは入つとる。部落地名総鑑、左翼組織メンバーのリスト、一番うるさい奴の、個人データをだ

あらゆる贅沢の限りをつくしたの。うちはね、愛と恋と人生をうたつたのよ。

「ろくでなし」鳴り止み、つづいて「傷だらけの人生」鳴りだす。前奏にあわせて、鶴田浩二、着流しで下手から登場。

鶴田浩二 古い奴だとお思いでしょうが、古い奴ほど、新しいもんを欲しがるもんです。どこに新しいもんがありまんのやろ、生まれた土地は荒れほうだいやし、今の世の中、右も左もまっくら闇でおまつせ。

鶴田浩二「傷だらけの人生」の一番だけうたう。

越路吹雪 鶴田コーチャン、ステキやわ。誰にもじゃまされんと、うたうなんてほんまにええわね。本当にめいわくなんやから。

鶴田浩二 ちょっと待ってんか。越路さん、あんたまちがつてまつせ。体の不自由なことは特別なことなんやで。障害者はわてらと違う人生を歩んで、人にめいわくをかけて生きる権利がありまんのや。

越路吹雪 そうや、そうやったんわ。うちは愛の歌手やったんやわ。

「愛の賛歌」流れます。越路吹雪うたいだそうとする。

障害者B 嘘や、そんなん欺瞞や。(愛の賛歌「消える」あんたら

してみよう。

コンピューター 村田拓をはじめとする現代社会・文化研究所のメンバーと「民衆のまつり」に集まってきている連中が危ない。

天皇 村田拓と研究所? そんなもの一握りでつぶしてやる。それにしても巷の様子はどうかやろう。

コンピューター 大物のスターの引退騒動が続いています。

天皇 ハハハハ、大物の引退か、これはおもしろい。もう一ベン寝てええ夢をみてやろう。

天皇、ベッドに横になる。

〔第二場〕

舞台はそのまま。

音楽「ろくでなし」流れます。越路吹雪、下手から派手な衣裳で登場。同時に障害者(二人以上)客席から登場。越路吹雪の歌をともにうたう。ワンコーラスはどううたう。

障害者A この歌はええな。「ろくでなし」はハリの民衆の歌や。

越路吹雪 なにあんたら、美観をそこねるやんか。歌だつてメチャクチャやわ。うちの歌もメチャクチャになつてもうた。いややわ、そういうの。うちの一生はね、恋もしたし、おいしいもんも食べたし、歌もうたつたわ。おしやれもしたし、お金もつかつたし、

の愛はな、二十四時間チャリティーや。一日だけの愛やんか。

鶴田浩二 障害者のみはな、障害を負うあんたらは特別や。人にめいわくをかけて生きる権利がありまんのや。勇気をだして街へ出て行きなはれ。

障害者B 鶴田浩二さんが言うどほんまや思うけど、うちらが言うたら皆怒りよるで、なァ。

障害者A ぼくらは特別な人間違うんや。普通の人間として扱うてほしいんや。

越路吹雪 ほんまに近頃の障害者てなまいきやね、フン。

突如、バックから「めいわく」を叫ぶ声が響きわたる。

バックの声 ストライキめいわく(ナンセンス)狭山闘争めいわく(ナンセンス)同盟休校、同和行政めいわく(ナンセンス)同和に金とらすな(ナンセンス)成田空港反対めいわく(ナンセンス)三里塚農民は静かにしろ(ナンセンス)朝鮮人は日本におつたらめいわく(ナンセンス)女性解放めいわく(ナンセンス)女は家事労働貫徹せよ(ナンセンス)俺は炊事いや(ナンセンス)ジェット機に乗つて外国旅行もしたい、ええ女がおるで(ナンセンス)ナンセンス)

障害者A ぼくらを特別扱いするのが差別や。ぼくらも同じ人間として生きるんや。それが大事なんや。

軍歌「勝つてくるぞと勇ましく」流れたし、行進するように渡

部昇一 下手から登場。

障害者は舞台前でそのまま。越路吹雪、鶴田浩二、下手の脇へ。

渡部昇一 皆さんはヒットラーがやったことを非人道的だとおっしゃられると思います。しかし、私がドイツに留学した時のことをお話ししますと、ドイツの医学生は、ヒットラーがそういった非人道的な行為のなかでなした功績というものを評価していた。それは何かというと、ドイツ民族は純潔であるために、精神障害者、ジプシーあるいはユダヤ人を抹殺したと。そのことはまさにドイツ民族にとって当然であった。今の西ドイツをみていただければわかるように、世界的に承認されてきたことであり、まさにヒットラーの功績である、と私は言いたい。それに日本においては：

障害者B 何ブツブツ言うてんねん。

渡部昇一 自助的精神の強い国であるから、精神異常者、先天的身体障害者が、すでに生まれてしまったのはしかたがない。それは社会や国家が保護していくのは当然のことです。しかし、大西巨人君のように一番目の子供が血友病という劣悪遺伝子であることがわかっていにもかわらず二人目の子供を産むんです。大西巨人君は……

大西巨人、転がるようにして下手から登場。床をたたいて呻く。軍歌は終わる。

渡部昇一 劣悪遺伝子を避けるべき立場の人がそれを避ける。まさ

たいものよ。

ファン ちょっと待ってや。マックイーンはあたいのもんや。

マックイーンのと妻とファン、ともにやじりあいなながら、マックイーンの精子を追いかけ回す。舞台から客席へと派手に追いかけてついでに展開される。音楽、さらに大きくなる。渡部昇一、数歩前に出、マックイーンの精子を指さして、

渡部昇一 みて下さい。ステイヴ・マックイーンの優秀な精子を。われわれ黄色人種である日本人が、白人に伍して栄えていくためには、一人一人の、まさに劣悪遺伝子をうけつけない、一人一人の自発的な犠牲行為が必要なのだ。

障害者たち渡部昇一に批難の声をあげる。渡部と大西巨人もみあっている。マックイーンの精子、妻、ファン走り回り、鶴田浩二と越路吹雪もいっしょになってかけ回る。マックイーンの精子、追われながら退場。全員、その後を追って舞台から消える。音楽も鳴り止む。そして、安川判事の妻と娘が下手から連れだつて登場。

安川判事の妻 裁判官というのんはみんなとつても立派で、優秀な人たちが思つて、うちは安川と結婚したんやで。そうやのに被告人の女をホテルに連れこむなんて、ドジな奴。

その娘 判事をやめて、年金を欲しいからいうて、町長選に出馬し

にそれが自助的精神であり、社会や国家に対する忠誠な義務だと、私は思うのです。人間としての尊厳を尊ぶべき理性をもって行くべきである。まさに神聖な義務だと思うのであります。

大西巨人 渡部の思想は弱肉強食、悪質な淘汰、悪質な優生、劣弱者切り捨ての思想であり、支配権力の、福祉国家から軍事国家への転換という方向にいかにも見合っている。このような卑劣漢が存在するということは、いよいよ益々安楽死法制化などの動きを阻止しなければならぬということである。このハレンチ漢は、すでに生まれた私の子供をなぜ未だに抹殺しなかったのかと言っているのである。渡部はそうにして私を攻撃し批難しているのである。

突然「大脱走マーチ」鳴り響き、ステイヴ・マックイーンの精子、上手より登場。マーチに合わせ踊る。

マックイーンの精子中央正面に立つ。渡部昇一、大西巨人、上手舞台脇へ。

マックイーンの精子 カーター落選、レーガン登場。強いアメリカバンザイ。俺は冷凍されたステイヴ・マックイーンの精子だ。

マックイーンの精子、再び踊りだす。そこへマックイーンのと妻とファンが上手からなだれこんでくる。

マックイーンのと妻 ああ精子はあたいのもんよ。マックイーンはあ

て落選するなんて、もう恥ずかしゅうて、どこにもでられへんわ、おかあちゃん。

安川判事の妻 かわいそうに。でもあんたは優秀な判事の子だから、優秀なんやで。もつともつと優秀な裁判官はいっぱいいるんやで。デッチあげ裁判で出世した人知ってるやろ？ 狭山裁判や赤堀裁判を。

その娘 他にもぎょうさんいるんやろ？ 甲山裁判みたいに。

安川判事の妻 もちろん、そうや。いっぱいはい、いっぱい、いるんやで。裁判官は権力者なんやもんなあ。さあ、行こか。

安川判事の妻と娘、連れだつて上手に退場。

暗転。

〔第三場〕

暗転の中、音楽「横須賀ストーリー」流れる。次第に舞台明るくなる。

天皇、ベッドに眠つたまま。

音楽の中、土方の男と女が下手から登場。土方の男、手にはスコップを持っている。

土方(男) きょうの仕事はしんどかつたわ。しゃあけど、この年になつたら引退もでけへん。やらなアしゃあない。けど百恵ちゃん

引退したな。

土方(女) 結婚もしたな。

土方(男) わしらの手でもう一ペン百恵ちゃんの引退興行やったらか？

土方(女) そうやな、百恵ちゃんは女のカガミやもんな。

土方(男) それでは山口百恵引退記念ショーを始めます。山口百恵さん、どうぞ！

音楽大きくなり、きらびやかに着飾った山口百恵下手から登場、

百恵 音楽に合わせ、手ぶり身ぶり。

百恵 これつきり、これつきり。

土方(男) その先は？

百恵 ずうっとこれつきり。

音楽、終わる。

土方(男) スコッフをマイクがわりにして前にさしだす。

土方(男) 百恵ちゃん、今の気持はどうだんね？

百恵 愛されるより(手ぶり身ぶりをいれる)愛したい。歌手山口百恵である前にあなたの前で女でありたい。百恵はお嫁に行きま

す。

土方(女) どうとう百恵ちゃんは友和さんの妻になつてんなあ。

土方(男) 人妻でんあ。

百恵 妻と呼ばれるより友和さんの女房と呼ばれるたい。

客席から「百恵ちゃんやめないで」「百恵ちゃんガンバッテ」等のファンの声があちこちからする。

百恵 ファンの皆さま、私のわがままを許して下さいありがとうございます。皆さまの期待を裏切らないようにがんばります。

ウツ。(絶句、涙)

百恵、舞台奥にしりぞく。

土方(男)、木練たらしく百恵に接近。

土方(女) 長島さんも王さんもやめたなア。そうや、長島さんや王さんにもインタビュールに行かへんか？(土方(男)が百恵に迫っているのに気付く)あんた、ちよつと、なにしてんね。はま行こうよ。

土方(女)、土方(男)を引張って下手に移動。百恵、上手に退場。

音楽「巨人の星」流れだす。

長島と王、上手から登場。音楽に合わせてバットを振ったり、サインをだしたりする。

土方(男) 長島さん王さん、やめられたんでつか。わしら民衆のアイドルやったのに。

「鞍馬天狗」または「月光仮面」の曲)の音楽が鳴り、木馬にまたがった鞍馬天狗がスギサクをつれて上手から登場。

天狗 スギサク、おじちゃんにしっかりとつかまっているんだよ。

音楽の中、舞台を一周。そして、天皇のもとへ馳せ参じる。音楽、終了。

天狗 ミカド、ご健在でござりましたか。大物のスターの引退が続いており、拙者案じておりました。ご健在で安心しました。

天皇 あつ、そう。朕は健在じゃ。

天狗 スギサク(客席に向かって)日本の夜明けは近いぞ。

スギサク はい、鞍馬天狗のおつちゃん。日本の夜明けは近いですね。でも、このおつちゃん(天皇を指さす)よばよばのおじんや。頼りないな。

再び同じ音楽鳴り響き、鞍馬天狗とスギサク、舞台を一周して、上手に退手。同時に音楽も終了。

土方(男)、土方(女)、舞台中央へ。

土方(女) ところで天皇はんはしぶといねんな。なかなか引退しよらへんがな。君原はんも三重ノ海もやめたことやし、この辺で天皇はんも引退興行でもやって、わしらの手で引き降ろしたらなあかんあ。

土方(女) やめさせられたという噂がありまっけど、真相はどうなんでつか。

長島 それはぼくの口からは言えまへん。ただ残念です。選手生活十七年、監督として六年、野球のことしか知りまへん。ぼくに続いてワンちゃんも野村さんもやめて行きました。

土方(女) 王さん、なんでやめたん。残念やわ。

王 打席に入つても、もう燃えなくなつたんです。

土方(男) 今後どうしはるんです？

王 日本の国民栄誉賞もろうても、国籍が台湾ということで、出世の道も閉ざされています。張本君を追い出し、黒人選手を入れようとせえへん巨人軍の純潔さ。ぼくなんか監督になれまへんよ。これからはボンカレーでも食つときますよ。(ボンカレーを取りだしてみせる)

王、長島の二人、下手に退場。音楽、終わる。

土方(男)と土方(女)、長島、王を見送るようにして下手に移動。馬のひずめの音が鳴り響く。

天皇、目を覚まし、起き上る。

天皇 こんな時刻に、馬の足音が。

土方(男) そや、そや。

と言って二人天皇に近づく。

土方(男) 天皇はん、年はいくつでしたねん？

天皇 七十、七十……、ええと、忘れてもうた。

土方(男) 年忘れるほど長生きして、もうええかげん引退したらどうでつか？

天皇 わしや、引退せん。死ぬまで引退せん、子々孫々引退せんぞ。

土方(女) 山口百恵ちゃんも長島さんも王さんもファンに惜しまれてやめはったんですよ。それに引退興行はもうかりまつせ。

天皇 ファンに惜しまれて、ウン、人民に惜しまれて。引退興行はもうかる？ そんなら引退してみようか。どうしたらええのや？

土方(男) それなら任せておくんはなはれ。天皇さんは何も考えることおまへん。わしらが引退興行やりまつせ。

土方(女) どっちでやりまつか？ 長島さん式か、百恵ちゃん式か。

天皇 長島式、百恵式。引退興行はもうかるのやろ？

土方(女) そうや。

天皇 ほならいっしょにしてエ。両方ともや。

土方(女) 欲が深いなあ。

土方(男) わかりました。百恵ちゃんと長島さんのセリフはちゃんとここに書いてとりま。(そう言っ腹巻から特大のメモ用紙を取りだしてひろげる)

天皇 朕は、書かれたものでしかしゃべったことがない。

ている。

土方(男) やめさせられるという噂がありますが。

天皇 やめさせられる？ 日本の人民はおとなくて、わしにやめろなんて言うのはおらんぞ。

土方(男) 次は投げる格好でつせ。選手生活十七年、監督として六年、私は野球以外のことは何も知りません。

天皇 (投げる格好をして) 天皇在位五十五年、朕は朕のことしか知らん。大戦争が起きようが、(再び投球の格好をして) 広島、長崎に原爆が落ちようが、(さらに一球を投げながら) 障害者が死のうが、(同じように投球しながら) 子供が自殺しようが、(投球しながら) 部落の奴が死のうが、わしや知らん。戦争責任なんて文学的なあやはわしや知らん。

土方(男) 次はバッティングフォームでつせ。(長島のバットを持ちだす) 天覧試合でみはったでしよ？

天皇 これは何じゃ？ この棒は大和魂注入棒か？

土方(男) 違いまんがなあ。長島さんの記念のバットでんがなあ。

天皇 バットか？ どうするんじや？

土方(男)、バットを天皇に渡し、バッティングフォームを教える。

天皇、バットを振ったとたん、ひっくり返る。

土方(男)・(女) 打ちました打ちました。場外ホームラン、天皇も、

土方(男) わしらもそれしか聞いたことない。

土方(女) そしたら、まず百恵ちゃん式でやりまひよ。私の言うとおりにしなはれや。まず、愛されるよりも愛したい。

土方(女) が身ぶり手ぶりをまじえて言うよ、天皇も同じ身ぶり手ぶりを行なう。しかも天皇の方がオーバーに行なう。

天皇 愛されるよりも、愛し、アイし……いや、支配したい。

土方(女) 歌手山口百恵であるよりも、女でありたい。

天皇 天皇であるよりも、朕は……女、オ、男じや。朕は朕じや。

土方(女) 友和さんの妻と呼ばれるよりも、女房と呼ばれるたい。

天皇 友和さんの妻と呼ばれるよりも……女房と呼ば……あれっ？ 朕は男じや。

土方(女) ファンの皆さま、私のわがママを許して下さい有りとう。

天皇 人民の皆さま、朕のわがママを許して下さい……？ 朕の勝手じや。朕は朕の思う通りにやる。

土方(女) 皆さまの期待に答えてガンバリます。ウツ。(絶句)

天皇 人民の期待に答えて、朕はガンバル。ウツウツ。(絶句)

土方(男) 次は長島さんでつせ。まず、サイン、これが長島さん式の特徴です。

土方(男)の数々のブロックサインを、天皇がまねる。その中には首を手で切ったり、両手で首を吊ったりするサインもまじっ

場外に飛びました。

天皇、立ちあがってバットで土方たちを追い払う。

天皇 何がホームランじや。わしや引退せんぞ、死ぬまで引退せんぞ。子々孫々まで引退せんぞ。コンピュータも保障しておる。

天皇、コンピュータに近づき、ビッピビッとボタンをおし、トイレットペーパーをくりだす。

コンピュータ 大平首相が死んで自民党圧勝。日本人民はおとなく、反乱も起きず、子々孫々天皇は御安泰です。

民衆多数舞台上へなだれ込み、コンピュータや天皇のベッドをこわす。天皇をなぐり、蹴とばす。天皇、民衆の中にもまれているが、こっそり舞台正面へ這いできて、ニコやかに帽子を振る。

(幕)

この「80引退騒動記」は、80年12月7日(日)、大阪・部落解放センターにおける現代社会文化研究所主催「第五回民り」で上演されました。

『ジット・プミサク』

戦闘的タイ詩人の肖像

莊司和子編訳・鹿砦社刊

ハスヤ どうだった、この本読んで。

クミコ 最高にコーファンした。だいたいさ、私なんてリルケとかそういう詩しか読んでこたないわけ。だからもうビックリしたよ。

ハスヤ オレもさ、カッコイイナーって感じ。ユウコ 私、正直言って、非常につまらかったの。ジットを批判しているわけじゃないけど。ハスヤ どういうこと？

ユウコ 私が音人間なのか、完全に突き刺さってこないの。タイの学生バンドが原語でジットの詩を歌っているテープを聴いたんだけど、そっちのほうが、感動したわ。

クミコ ヘーいいな、いいな、私も聴きたい。ハスヤ 日本語に訳された詩であり、活字化したものだからかな。オレなんかそれでも言

葉がウソじゃないなって感じたよ。

クミコ 今さ、日本人がウソクサイから日本語自体もウソクサク感じちゃうよ。でもさ、

〈新聞の良心〉なんていう詩、私涙でちゃった。

旧友に誠意をこめて送ったものらしいけど、

あんまりカッコよすぎて胸がスーとしちゃった。

だいたいさ、私なんてパープリンじゃんだから、むずかしい専門用語つかわれてもわ

かんないわけ。ところが、ジットの言葉はさ、

全部私の知っている言葉なんよ。〈大馬鹿野

郎のど阿呆〉とかさ、こういう言葉は私なんか好きで好きで感じちゃうよ。

ユウコ 私もクミコの言っている部分はい

んだけれど、政治的、思想的言語っていうの、

そういう言葉と二年間つきあってきて、マン

ネリって感じなの、私の中で。

クミコ ヘー、私なんかピンピンに感じるよ。

ハスヤ 読む人によってちがうけどさ、クミ

コが感じるっていうのはさ、〈大馬鹿野郎の

ど阿呆〉という部分だけで感じているんじゃない

なと思うんだ。ジットの詩全体を通して、

さまざまなタイの異なる言葉が使われている

と思うんだ。風俗的な言葉、政治的な言葉、

宗教的な言葉、道徳的な言葉、等々。それらタイ

プの異なる言葉が一つの詩の中で激しくぶつ

るよね。そういう連中がさ、ジットの詩を読

んだら、絶対に感じると思うけど。

ユウコ 読んだら感じると思うけど、読ま

ないと思うわ。というのは日本の運動のイメ

ジが悪いのよ。だからジットも同じようにみ

られると思うわ。

ハスヤ どういうことか、説明してくれるか

な？

ユウコ ジットは、詩人であり、作家であり、

作曲家であり、学者であり、評論家であり、

そして、何よりも実践者であったわけだけ

ど、明確な思想があったからこそ、詩をつ

り、曲をつくり、演奏することができたわけ

逆にそのような感性こそが、思想を生み、行

動を生んだと思うわ。多くの事を手がけたの

は、実は彼自身が一つだから、分裂してい

いで一貫性があったからでしょう。日本は分

裂していると思うわ。運動自体が現代を支え

る分業化された職業と同じパターンになっ

ているのよ。

クミコ もっとやさしく説明してよ。

ユウコ たとえば、運動やっている人って音

楽なんてバカにしているのよね、どこかで、

ファッションなんて完全ね。あなたなんて、

かりあっているところなんだと思うんだ。ぶ

つかりあうことよって、互いの言葉の意味

が明確になって生き生きしてくるんだよ。

クミコ 私もさ、〈良心〉とか〈道徳〉とか、

その言葉だけだったらグサイと思うわ。でも、

ジットの詩の中ではカッコイイのよね、言葉

がハダカになっているって感じ、生々しいの

よ。そこが好きで好きで……。

ユウコ なんとなくわかるけれど、今の私に

はピンとこないの。

ハスヤ この本の後半はジットをいろんな人

が語っているんだけど、どうだった？

ユウコ ジットはえらい人、という感じで書

かれているところがちよっとね。

クミコ 英雄伝って感じ。

ハスヤ 二人ともキビシイね。でも、ジット

の生きた時代背景はよく理解できたと思うけ

ど。

クミコ そうね、私だけじゃなくタイのこと

ほとんど知らないもんね。私を知ってんのな

んで、キックボクシングと民族衣装ぐらいだ

ったもん。政治状況なんて知識ゼロだったよ

ユウコ ジットって人物についてだけけれど、

〈アユタヤ朝時代に書かれた文字でも、どの語

がどの時代に使われた語彙であるかを読みと

目で見られるわよ、ケイソツだって。

クミコ 運動やりたかったら変身願望するろ

って言うの？

ハスヤ 現代社会ってさ、やっぱり分裂してん

だよ。めいめいナワバリを作ってるし、別のタ

イプの人間をうけいれようとしないうし、別

のナワバリは無視してんのよ。ところがさ、

自分のナワバリは絶対だと思ってる人もし

れんけど、よくみりゃ矛盾だらけのワン・パ

ターンだろう。別のナワバリとのちがいは、

ちよっとした選り好みだけだったりしてさ。

クミコ バラバラで無視しあってて気分をよ

くするのは、たぶん体制側だけだと思うけ

ね。

ハスヤ 人間ってさ、思想は同じヤツはいて

も、感性レベルでは同じヤツは二人いないと

思うわけ、細部では絶対ズレが生じるわけよ

そのとき、ズレた部分だけを気にしてい

しょうがないわけ。気にするなっていうんじ

やなくて、共通部分も同時に気にしてほしい

わけよ。

クミコ そうじゃないと、私、運動に参加で

きないよ。

枢機卿にささげる手紙

一九八〇年十二月十日

光州事態拘束者家族一同

わたしたち光州事態拘束者家族に止められた閣下のあたたかい温情に対し、二百余人の拘束者と十余人の拘束者家族は心から感謝の気持ちを書きあげます。

わたしたちが受けた枢機卿閣下のあたたかい愛は希望であり、喜びであり、まことの慰めでありました。感謝の言葉もありません。枢機卿閣下！

ここ、光州事態の拘束者たちが、どれほど残忍な拷問の中で不当な捜査と裁判を受けたか、事実をありのままに申し述べたいと思います。この不当で、耐え難い事実をどうか認知され、わたしたちの恨みこもる胸の内を関係機関に訴えてください。

わたしたちはひたすら枢機卿閣下の海のような愛に訴えるよりほか、他に方法がありません。ただ落ち着かない状況の中で書いた文章なので、幾人かの重刑者のみを例にとりあげましたので参考にしてください。願っています。

があざだらけになるほど殴りつけ、あらゆる拷問を加えてつくりだしたお金なのです(今すぐにも証言する人がいます)。審理過程で本人が陳述したところによると、

「最初はお金を『十萬ウォン受け取ったことにしましょう』という、捜査官が『あまりに少ない』というので、では、いくらしましようか。千萬ウォンにしましようか』というので、『それはあまりに多い。その金をいつ全部使ったことのできるのか。それでは公平に五百萬ウォンにしましよう』といって、五百萬ウォンに決まったのであり、この金には『使われた名目がなくてはならないではないか』と迫るので、本人は、自分だけの被害でこの捏造された起訴状が終わらなければならぬとし、また他に被害者がいることを思うと、たまらなくなつて、自分だけ死ねばことはすべて解決されるものと思ひ、満身創痍の身で入院していた光州国軍総合病院で動脈を切つて割腹し、頭を打ちつけて自殺を企てました。」

こんなことが、あつてよいのでしょうか。

一、二人の捜査官たちに酷い拷問を受け、人間以下の扱いをされながらどんなに耐えられるというのでしょうか。

捏造されたすべての調査は、あらかじめ作成しておき、拇印を押したあとに読まなければならないといつて、あらゆる拷問を加えられたのです。(法廷で本人陳述)

その時の酷い拷問で、いまは左の肩が麻痺状態であるが、死刑囚

(一) 全南大学復学生、鄭東年(38歳)の場合。

学生の身分で内乱首魁に仕立てられ死刑宣告を受けました。五月十七日夜、予備検束され、第五〇五保安部隊で布告令違反の罪で捜査を受けていたが、全南大学復籍生代表という理由で七月十日ごろからは内乱罪に問われ、内乱首魁となつてしまったのです。

人間としてこれ以上耐えられない状況で捏造された調査をもつてあらゆる拷問を加えたのであり、特に現行刑法上その類例のない仮法廷で、捜査官たちを後に座らせ、法務士の前で宣誓をさせ、暴行と脅迫、恐喝のなかで仮裁判を受けたのであり、正式の法廷では、仮裁判の過程で宣誓を行なったという理由で、否認してもむだでありました。ほんとうにこういうことがありうるのでしょうか。

もう一つの例としては、起訴状にも記録されているように、ソウルで金大中氏から受け取つたという五百萬ウォンの事実とは、全身

という理由で二十四時間手錠をかけられ、体はしばられております。

(二) 朝鮮大学生、死刑囚金宗培(29歳)の場合。

光州事態取締対策委員会の学生側委員長という職責のために、二十七日早朝、戒厳当局に連行され、昼夜をわかつた拷問されるうちにM16銃の台じりで殴られ、前歯が二本折れ、顔面と額を酷く殴打され、今もその傷跡が残つており、三度も意識不明になるほど、学生としてだけでなく人間として、どういふ想像もできない暴行と拷問を受け、虚偽自白の起訴状に拇印を押させられたのです。

(三) 運転手の朴南宣(25歳)は、すでに組み立てられた脚本に合わせる虚偽の自白を取る目的で、キリで十本の指のつめ先を突き刺し、つめがはがれると背中を刺し、歯が抜けるまで振り、意識を失うまで何度も打たれ、つめがはがれて、どういふ拇印を押すこともできない状態でした。(死刑)

(四) 弁護士の洪南淳氏は、68歳の老人ですが、四十八日間、パンツ一つの姿で眠らせない拷問のうちに虚偽の自白をさせられました。

(五) 金相允(全南大学復学生、32歳)は、五月十七日に予備検束され、布告令違反で捜査を受けていたが、光州事態責任者とみなされ、人間として耐えられない状況下の拷問によつて虚偽事実を認めるようになり、捏造された調査で起訴され、檢察尋問の過程ですべてを否認すると、ふたたび合同捜査班に移されて拷問の末、す

に作成された起訴状に拇印を押させられたのです。そして、仮裁判も受けましたが、これは鄭東年氏の場合と同様です。(懲役20年)

(六) 金永哲は、クワンチョン洞セマウル(新しい村)指導者であり、YWCA信用協 組合に勤務している人ですが、二十七日早朝、戒厳軍によって検挙され、検挙された直後から間諜の嫌疑を受けてたびたび殴打され、ついに拷問に耐えられず、くやしきのあまり自殺を企て、監獄の鉄窓に頭をぶつけて死線をさまよっていました。一カ月ぶりに意識を取り戻しました。今も後遺症がひどく残っています。(懲役10年)

(七) 全南大学、明魯勤、宋基淑教授の場合。

眠らされず、ボブラの生木で、保安部隊地下室で何度も殴打されました。

(八) 朴ヨソソ(全南大学学生)の場合。

六月三日、父の勧めで合同捜査班に自首しましたが、自首直後から、六月七日まで何度も殴打、拷問され、脊髄に重傷を負い、昏睡状態に陥りました。国軍総合病院に送られましたが、精神異常の症状があらわれても病院側で誠意ある治療をせず、継続して鎮痛剤を服用させており、言語機能を喪失しております(失語症)。現在、起訴中止状態で、病保釈を申請しましたが、棄却され、今なお入院中の重患者であります。

枢機卿閣下、

以上、八つの例だけを代表的にとりあげましたが、光州事態で拘束された人々のうち、拷問、殴打されなかった人はおりません。民主国家という国で、どうしてこれらの事実が黙認されなければならぬのですか。わたしたち家族はひざまづいて切に訴えます。

どうか、正当な裁判が受けられるよう、関係機関に訴えてください。罪のない囚人たちが極刑だけは免れるように助けてください。

ひとえに、枢機卿閣下の愛にわたしたち拘束者家族はすべての希望をかけております。

この胸の中のわだかまりを深く察してください。

ほかの人は喜んでクリスマスを迎えるのに、なぜわたしたちは涙のクリスマスを迎えなければならぬのですか。はたして彼らが主張しているように、弁護士と学生が、教授と神父が内乱に参加したとするなら、この国は、ほんとうに希望がないのではないですか。

また、光州事態を一度も見ることができなかった復学生が光州事態の主謀者に問われるとは、こんなことがどうしてありえましょう。切に望みます。どうかあらゆる方法を行使されて罪のない人々を助けてください。

最後に、閣下の健康を天主様にお祈りします。

この手紙は、一九八一年一月十六日、韓国問題キリスト者緊急会議と日韓連帯委員会によって公表されました。

歌のなかに流れる抵抗精神

尹東浩^{キム・ドンホ}

金慶植^{キム・ギョング} 植訳

いうまでもないが、朝鮮は美しい自然に恵まれているように、歌も多い国である。

遠い昔から歌を愛する民族であり、悲しいときも、嬉しいときも、集まっては歌をうたう楽天的な気質は、ひとつの民族的特性としていまに受けつがれている。

どこへ行っても歌は流れている。「想う心の歌」のないところなく、河川のあるところ船歌があり、「アリラン」「陽山道」のような調べは全国にみちあふれている。

この美しい歌のくいのなかでも、全羅道は特に歌の宝庫といえよう。地中海の波がナホリの歌を育んでいるように、絵のように美しい多島海の波は、鼓を打ち鳴らし、珠のような調べをばらまいて湖南の地の歌を育み、いたるところに歌の花を咲かせている。

申五衛將をはじめとする近代の名唱たちが輩出したのも、この全羅道であり、数多くの「パンソリ」が生れ、^{クダダ}広大ができたのも全羅

道である。だから、李朝末期の歌壇では、一時期全羅道訛りが一種の標準語のようになっていたときすらある。

この湖南地方の民謡をまさぐってみると、そのなかに血脈のように流れるひとつの伝統を発見する。それは抑圧された者たちの精神つまり自由を愛し求め、外勢に抵抗し、民族の幸福を願う心である。いうなれば、漸新で素朴な湖南地方の歌のなかには、レジスタンスの精神が流れているということである。

「井邑詞」とか「陽山歌」などについては、あまり古いのでさておき、「カングカング スオルネ」から、そのいくつかをあげてみよう。

カングカングスオルネ

月が出た 主逢いに

カングカング スオルネ

月も見 主も見

このように月夜の抒情からはじまる歌は、素朴なロマンをうたつたものもあれば、世態や風潮を反映しているものも多い。だが、いまだに発生当時の愛国精神を忘れず、外敵に対する警戒心をよびおこさせている。

月が出た 月が出た
鶏鳴山川に 月が出た
村の衆 みな集まって
カングカング スオルネ

夜露に 濡れて くるのか
嵐に 打たれて くるのか
夜が更け 月が落ちると
かもめも 眠りはじめるよ

行くよ行く 私に行く
あなたについて 私も行く
針についていく 糸のように
十二の海も いとわずに

君が死ねば 私がいる
私が死ねば 天がいる
祖国に 身を捧げば

ンレ(巡礼)であることは疑う余地がない。

しかし、このような語意はどうあろうと、昔も今も外勢に反抗し、侵略者を追い出そうとする民族の断固たる闘志がみなぎっている。

次に、あの数多い「春香歌」のなかから、いくつかの歌を選んでみよう。

口伝だろうがパンソリだろうが、春香歌はみな執権者の横暴と、封建主義に対する反抗の歌であるが、特に「農夫歌」や「獄中歌」は民衆の抵抗意識が最も強くあらわれている歌だといえよう。

おいらの南原は 四つの心よ
して その四つの心とは
ひとつ 高官は 倒したい心
ふたつ 春香は 泣く心
三つ 六房官属(下つ端役人) 汚職の心
四つ それで 百姓はみな死ぬ心
オルナルナル サンサヂヨ

李夢龍が御使となつておりてくるとき聞いた農夫歌の一節である。民衆を抑圧し、権勢をほしいままにしている官権に対するくやしさと憎悪の念が歌の底に流れている。

ひどい杖罰 答罰
ひとつで 止めてくれれば
せめて ふたつぐらい と思ったのに

死んでも 花が咲くよ

春に見た 父母妻や子
元気で いるだろうか
今日の戦いに 勝てば
明日には 帰れるよ

千年また千年 四千年と
代々孫々 生きてきた
万年また万年 四万年と
代々孫々 守つていこう

いまでも月夜には、湖南の女性たちは集まって、円陣をくみ手を取り合い、円舞を踊りながら「カングカング スオルネ」を歌う。

この「カングカング スオルネ」には二つの解釈がある。

その一つは「強羌水越来(ニ秀吉の水車を珍島に迎えた李舜臣が、敵の来襲を報ずる合図がわりに軍中でうたわせた囃子といわれている)」といった漢字式の解釈。これは壬辰倭乱のとき、強い倭敵が海を越えてやってきたという意で、この漢字の題名でレコードにもなり、辞典にも載っているが、何かちよつと無理があるような気がする。

もう一つは「カングカング」は周辺という言葉の古語で、「スオルネ」は巡礼という言葉の訛伝であるといっている。「カングカング」という言葉の解釈には若干意見がなくもないが「スオルネ」が「ス

三十回もの むごい仕打ち

五臓六腑溶けてしまえ

ひっかかってしまった ひっかかってしまった

まずは 春香が ひっかかってしまった

高官の いいつけ厳しく

情などありやしない

国のもの盗つたといわれながら

厳しい 刑罰に

人を殺そうとしたといわれながら

首と足に 鉄の鎖をはめ

官権を あなどつたといわれながら

骨がくだけるほど ならぬ

ほんとうに 可哀想 ほんとうに

春香の母も また可哀想

これは「刑杖歌」の一節である。階級の限界を越えた愛に泣く春香を、答罰と杖刑で罰する、官服を着た獣たちに対する火のような憎悪心が燃えたぎっている。これはまさに抑圧された民衆の心であり、精神でもある。

ここに麗水地方で、よくうたわれている歌がある。

裏のお山に 柘榴を植えて
日日スゲビ(人の名)が 水かけて
使令(郡吏)のような 枝がのび

阿典(郡吏)のような 葉繁り
妓生(芸妓)のような 花咲いて
紅い柘榴が 生つたらば
都上りの 新監司(一道の長)
色がよいというちや 一つ食べ
味がよいというちや 二つ食べ
とうとう残らず みな食べた

金素雲訳(「朝鮮童謡選」岩波文庫)

この歌には、燃えるような憎悪の感情はないが、庶民が汗水たらして築きあげた財産を、官権を利用した守令たちが残らずかつぱらっていく様子を、一幅の絵のように鮮明に写し出している。

官吏たちの非行の話がでたついでに、いまでもうたわれている「暮打令」を紹介してみよう。

暮よ 暮よ お前の背中は なぜそうなの
全羅監吏がきたとき 妓生の妾と遊びすぎて瘡がうつたため
なのよ

暮よ 暮よ お前の手は なぜそうなの
全羅監吏がきたとき 将棋や碁を打ちすぎてタコができたため
なのよ

暮よ 暮よ お前の目は なぜそうなの

農民蜂起軍の、意気天を衝く勢いと、決死の心が歌にあふれている。学者たちは譏諷として取り扱っているが「緑豆鳥の歌」や「青鳥の歌」なども、みな当時の蜂起に対する民衆の支援をあらわしている。

上にいる鳥よ 下にいる鳥よ

全州古阜の 緑豆鳥よ

緑豆鳥に 下り立つな

トルバク タクタクウヨオ

「緑豆鳥の歌」はいく種類もあるが、ここではこの歌だけを見てみよう。

閔一派の執権と売国奸臣の専制で、国が減びつつあるなかで「緑豆將軍」というあだ名の全瑋準が、全州と古阜一帯で蜂起軍を集め、「東学乱」を起した。

そしていたるところで腐敗官吏を肅清し、群山では官軍を撃退、燎原の火の如く全州を陥落した蜂起軍は、その勢いでソウルまでいけばよかつたが、彼らは古阜の頭流山にこもってしまう。

これが農民蜂起軍が敗北する重要な原因になったが、「緑豆鳥の歌」はまさにこのまだるつこさを吐露したものである。全州古阜の緑豆將軍よ、どうかそこ(緑豆鳥)にこもらないで出てきておくれ、頭流山は危険なところであると、声をかぎりに叫んでいる。

そしてこの歌は「青鳥の歌」と変っていくながら全国各地に広がるが、こめた願いはやはり同じである。

全羅監吏がきたとき おいしいもの食べすぎて 目がにごって
しまったのよ

この歌は、ちよつと見には暮を全羅道監吏にたとえたようにみえるが、実は全羅監吏を暮にたとえたものである。美人があれば抱き、うまいものを食べ、放蕩三昧にふけり、無頼な生活を送っている憎い地方長官を、動物のなかでも最も醜い爬虫類にたとえてうたったものである。

甲午農民蜂起のときも、多くの歌がはやっている。だが蜂起の結末があまりにも凄絶だったので、その全部を収捨することはできないにしても、断片的な歌はいまでも口から口へと伝わってきている。

昨一朝の ふれで
今一夕の 集まり
つながつた 架橋の如く
鎌の光は 電光の如く
ときの声 雷の如し

東西南北 集まった力で
死生を 共にし
戦えば 勝つ
敵兵は 幾千万ありとても

純粹な民謡ではないが、斥洋斥倭の旗の下、雲のように集まった

鳥よ 鳥よ 青鳥よ

緑豆(八重生・文豆)の鳥に 下り立つな

緑豆の花が ホロホロ散れば

青舗(緑豆の煮汁を凝らせてつくる寒天に似た食料) 売り婆さ
ん 泣いて行く

金素雲訳(「朝鮮童謡選」岩波文庫)

鳥よ、つまり蜂起軍たちよ、緑豆鳥つまり頭流山一帯の根拠地にだけこもつてないでおくれ、そうしているうちに、緑豆將軍にもしものことがあれば、みんな困ってしまうという切実な心情がこもっている。

「ケナマ ケナマ」からはじまる歌をはじめ、甲午民衆蜂起に関連する多くの歌は、大体こんな傾向であるが、だがそのうちの「カボセの歌」だけは異彩を放つものといえよう。

カボセ(甲午) カボセ
ウルミジヨク(乙未)ウルミジヨクしてらうち
ピョンシン(丙申)になつて行けなくなる

この歌は革命の時期を逃してはならぬということを力説している。カボ(甲午)年にやらなくてはならない、次の年であるウルミ(乙未)もまたもたしているうちに、年になると、その次の年であるピョンシン(丙申)も病身になる、もうおしまいであるという意味である。この予言的な歌は、民衆の判断がいかに正しく、正確で

あるかを物語っている。

いままでも歴史的事実にかかわる歌か、記録に伝わってきた歌を書いてみた。しかし湖南一帯でうたわれている素朴なそして平凡な民謡のなかにも、前述したような抵抗精神をいくらかでも探しだすことができる。

全羅道の歌といえば、まずは「ユッチャベキ」から「珍道アリラ」「トングン打令」などをあげるが、このような歌のなかでも倭敵に反抗し圧制を嫌う民衆の声がその主体となっている。その数多い歌をここに紹介するわけにはいかないが、ここに「ユッチャベキ」のなかから二、三句節だけをあげてみることにする。

鎮国名山に そびえ立つ峰々は
風が吹くからとて 崩れようか
松竹の如き 堅い節操
打たれたからとて 破れようか
あの月は上りて 大将となり
索牛・織女星は 援軍となる
太白星は 早く行きて
進軍のラッパを 鳴らさせろ

緑なす草 清江に
たづなをふり払った馬
北に向いて 頭を高くあげ

いなくは なんのため
それは 奸臣が朝廷にみちあふれ
国を憂うがためなのだ

松の木陰に たたずむ僧よ
いつまで そこにいるのだ
山河が けわしく
来た道を忘れたのか
それとも 帰る寺を失くし
行くところもなくなったのか
西に陽が落ちる前に
もう一度 立ち上ろう

この流暢に流れひびく句節のなかにも、侵略と不正義に抵抗し、屈することなく闘いぬこうとする強い声を聞くことができる。われらは先の五月の光州事態のとき、多くの青年学生たちや市民が、祖先伝来の民謡をうたいながら抗争の途についてと聞く。それは民衆の力を信じ、また歌の力を信じる人たちがだけができることである。

彼らは歌を通じて力を結集し、歌を通じてロマンを、歌を通じて闘志を燃やしたのである。そしてこのように、われらの伝統的な歌のなかには、伝統的な抵抗精神が流れている。

マダン劇

イエス伝 (3マダン)

民俗文化研究集団 《ハントウレ》共同作

- プロローグ
- 1のマダン・はらからたちの酒盛り
 - 2のマダン・エルサレム人の酒盛り
 - 3のマダン・死への道、ゴルゴダ
- エピローグ

*舞台空間をプロセニアム劇場の舞台とする場合とマダン(パン)円形舞台とする場合とでは、演出の方向が大きくかわってくる。この劇本はマダン劇として上演されるのを原則とした。劇の進め方はいっさいの制約なしに自由であり、仮面劇のように憚ることなく思いっきり羽目はずしうち興じ、佚蕩乱

舞の(どんちゃん騒ぎ)であるほどよい。

*台本は原則としてない。全体の筋書きと進行の仕方を呑込んでいる俳優によって、即興的に、現場性にもとずいて劇中状況をつくりだしていく。この点、コメディアル・アルトのノン・シナリオや新派劇の(口立て)に通ずるところがある。次の台本は劇の大まかな流れがどうなっているかを示したものにすぎない。それすら、劇を進めながら完全に無視してかまわない。いかなれば現場的集団創作演劇の形態をとるのである。そのためには俳優をはじめ共同参加者たちの集団討議と、討議された内容の具体的な表現技法にたいす意見が統一的に整理されるべきであろう。

たとえば、イエスとイエスらしい形象についての共同学習が必要なのである。とくに劇の進行がともかくいったん俳優の高度な表現術にかかっているのであるから、俳優には日常生活の中で血のにじむような匠人的修練の過程が基本的に要求される。

*劇は内容の伝達を主とする解説的・説明的な事件展開(story telling)の方式を排し、劇中でくりひろげられる状況それ自体をそのつどはつきりと感じとれ、把握できるようにつとめ、そこから惹き起こされる風刺と諧謔の力動的な余裕をたのしむようにする。事件構成の推移が問題ではなく、(過程)が重要なのだ。特別な場合を除いては、いかに

悲劇的な内容であってもそれを喜劇的に解体させ、観衆に平静さを与えなければならぬ。とはいっても、ふざけて笑いこけているあいだは姿を見せずにいた(苦痛)や(恨)や(攻撃)の癖は、観おわつたあとそれぞれ自分の生活に戻つていつた観衆の実際の生活の中で確認されていかなければならない。

* 各々のマダンはそれ自体、独自の完結性をもつけれども、全体的には共通した流れの中に位置づけられるべきである。いうなれば地方自治制であつて、下向式中央集権ではない。すなわちそれは、統一なものがないに分化されていく風俗図的統一の多様化である。各マダンは全体を代表し、状況に応じて選別的にマダンの数を選んで公演してもいこうに差支えないものでなくてはならない。

* 一般の観衆が劇の中へ積極的に介入するのを奨励すべきであり、俳優は観衆とじかに会話をするのはいよいよおよばず、観衆の直接的な反応を誘導する。マダン演劇は、できるかぎり観衆に見せ場を多く与えるスペクタクル・パラエティシヨウになるほどいいのである。劇中劇、劇中舞、それに観衆を登場人物化するなどによつて野遊会だとかマスメームの性質を持たすようにする。カーテンコール

がないので(プロローグ)では劇の方向を予告し、それぞれの登場人物が観衆にあいきつして紹介されていくというぐあいに、マダンを通じての観衆との団合大会のような形態になるののぞましい。観衆は劇の進行中でも勝手気儘に出たり入ったりでき、同僚との出会いをよるこび会いながら歓談できなければならぬ。

* 登場人物の登退場は自由自在で、時・空間的な論理性や因果律は適用されない。ときには映画的处理法を導入することもできる。劇的狀況を設置するうえで二つの相互対蹠的な関係が極端に対比されねばならない場合には、同時進行の表現手法を活用する。

* 踊・歌・台詞・動作などは登場人物の身分や暮しを反映している類型化されたものにするべきである。また、できるだけ才談(台詞によるやりとり)よりは踊ふうの動作でもつて内容を伝達し、どうしても才談が避けられないときは韻律調の話し方を心がける。韻律調の才談も歌でもつて類型化させるようにし、踊ふうの動作もよく整理された、完成度の高い踊に発展させる。すべての動作にはリズム性がなければならず、無伴奏、無拍子の場合でも内在的なリズムに乗せる。劇の中に出て

くる歌は観衆に広く知られているものほどよく、新曲のばあいはあらかじめ観衆に歌唱指導をしておき、歌の場面でコーラスにひき入れるなどして観衆を動員する。

* 全至的視線、すなわち円形的視線が想定されるマダン演劇の舞台では、人物の配置や動作が直線的であるよりは曲線的(可能なら円形的)に、正攻法的であるよりは迂回的になるようにする。

* 照明・音響効果、小道具は葛藤を極大化させるとか緊張が要求される圧縮的な劇的狀況以外ではできるかぎり排除され、どこであれまたいつでも簡便に演劇する場をいつらえられるように配慮する。

* 扮装は素顔のままとし、必要なときは誇張され戯画化された形象にする。ただし、社会的階層を代表する典型的な人物であるばあには、仮面にとつてかえてもよい。

* マダン劇は一回きりで終つてしまふものではなくてくり返しくり返し演じられていくたびごとに、たえず新たな社会的認識を可能ならしめていくのであり、したがつて劇の結末も完結すみの、閉鎖的に閉ざされたものではなくしに締め括りをつけながらも同時に新たな出発でありうる開放的なものにし、それが

ひきつづき生活の現場で拡大・再生産されていく持続性をもたすように、観衆と共同して努力する。

プロローグ

虐げられ抑圧された人びとが順に登場する。貧しさと飢えに苦しみ、疲れはた姿。社会から追放され、人間社会に踏みとどまるところとでない(見捨てられた地の人びと)である。

死にきれずに生きている彼らではあるが、生きる望みを棄ててはいない。ぼろくず人生使い途もなく、なんの価値すら見いだせない人生、かえつて社会を蝕む癌のような存在だけれども、ならばこそなおのこと生きようと身悶える。生きる意欲に燃える眼のかがやき。蔑みと呪いと、ありとあらゆる罵りを受けながらも、彼らを救つてくれるはずの一条の光にたいする希望があるからである。

しかし、桎梏と暗闇から抜け出ようとめがけはもがくほど、束縛と抑圧の枷はさらに締めつける。うめき声がただよう中で『われらは地の人だ』をうたう。

歌が叫びとなつて絶頂に達しようとする

き、一条の光とともに声が大地に臨む。荒野の声。洗礼者ヨハネの叫び声である。みな光の方へ馳けよつて洗禮を受ける。暗闇が退く。

歌のさいごがながい余韻をひびかせながら消えていく瞬間、閃光のような光線が彼らの中の一人の体の上に落ちる。しばし彼を照らしていた光がさいごのまたたきをするや、雷声と暴風と暗闇が襲つてくる。

彼は吹きとばされ、おし返されしながら必死でもがき、闇の中で泣き叫ぶ。いよいよの無い飢えと渇き、寒さに苦しむ。誘惑の手がのびる。世俗的な感情の誘惑が彼をさいなむとめどもなく動揺する。揺きむしられ、ひき切ぎられて血みどろになつたまま、力をふりしぼつて堪える。烈しいたたいが過ぎ去つて夜明けがおとずれる。うちひしがれて見るすべもなく変り果てた姿。だが、自分の生きる道を決心した人間の、泰然自若の姿勢、である。

(この場面は、観衆自身が自らにたいしてたかう信仰告白的な内容になるべきだ。すなわち、観衆のひとりひとりが主人公なのである。たたかいの声は観衆のおのの秘かな祈りの声であつてもよく、猜疑にとりつか

れた者の喚き声であつてもよい。観衆とともに祈りを捧げるとか讃美歌をうたう形で表現することもできる。)

1のマダン・はらからたちの酒盛り

① 全風物(農楽などで使う銅鑼・鉦・大鼓などの楽器のこと)が鳴りわたる中を、らい病やみ五人が登場、揚打令(物乞いが市や家の門前でうたう俗歌の一つ。打令は民族曲調の一種で、アリラン打令、パンア(杵つき)打令などという)をうたいながら舞台をどびまわる。かき集めてきた残り物や酒をならべてはしやぐ。

② 酒飲みが二人、千鳥足でたがいにからみついたり腕を貸しあつたりして登場。『酒飲みの歌』をうたい、あたりかまわず回り歩く。

③ 酒飲みを追つて防犯隊員二人が急ぎ足で登場、酒盛りの情報を知り、酒盛りが浮浪雑犯どもの会食であることを知り、酒盛りが行われている家のあたりをうろつきながら監視する。

④ おし、つんばが登場。びつたりくついついて一つの体になつた恰好で酒盛りの家によつてくる。

⑤その日暮しの者たち(日雇い、小作人、左官、漁夫など)が登場。つづいて不具者(いざり、せむし、びっこ)たちが登場し、そのうしろを子どもたちがついてまわる。

⑥女四人(娼婦を含む)が登場。道楽者を物色してあるき、目ばしっこく体を売る。

⑦乞食が一人、追われるように登場、あたりを窺いながら身をひそめる。

(全体として蕩佚な雰囲気を保つべきであり、そのために劇中劇を設定してもよい。創世記やモーゼの話とか、でなければいっそのこと猥談でもかまわない。)

⑧祭司長、両替人、パリサイ人が登場して、まわりをうろつきながら肩ごしに彼らを見くだし、まるで汚物でも避けるように退いてひとところに寄り集まる。当惑の色をかくさない。安息日を守らないだけでも違法であるうえ、こともあろうに聖なる日に酒盛りまでおっぱじめるとは聖典にたいする一大冒瀆であり、挑戦であると激憤する。ことに浮浪者難犯らの酒盛りは社会的、宗教的に犯罪の可能性が濃く、まさしく社会の綱紀を紊す犯罪行為といふべきほかない、と満場一致で合意を見たあと、国家的次元においてこのような浮浪平民らの不法酒宴を禁止させるべく、対策

⑬このとき、防犯隊員を先に立てて物々しい雰囲気の中を祭司長、パリサイ人、両替人が登場し、つづいて兵士が娼婦を引っぱってあらわれ、みんなの前に娼婦を投げ捨てる。

⑭群衆は不安におののき、娼婦を避ける。

酒飲み、乞食、不具者など数人が祭司長、パリサイ人、両替人の前へ進み出て、自分たちで解決するから勘弁してほしいと頼みこむ。防犯隊員が出てきて酒飲み、乞食、不具者を乱暴に突きとばす。群衆の中から数人がたおれている娼婦にかけよって罵り、よってたかたつて殴りかかるのを防犯隊員がやっこのことと引き放す。

⑮両替人が進み出て、経済理論上、肉体労働の重要性は認めるが、どんなに暮しが苦しいからといって体を売って金を稼ぐとはもつての外だと主張し、経済の構造上から見ても正当性のない寄生虫的な淪落行為は撲滅されねばならない経済悪である、とあばいてみせる。

⑯パリサイ人が進み出て、淪落行為の反人間的、反道徳的野獸性を糾弾し、淪落行為者を社会から追放することによって、断固たる社会浄化運動を展開すべきだと訴える。

⑰祭司長が進み出て、神よりさずけられた

を講じる。

⑲三人が退場し、かわって兵士たちが登場して群衆たちを強制的に解散させようとするうちに、群衆の中の一人が血まみれになってたおれる。

⑳群衆は散っていき、祭司長がふたたび登場。血まみれの男に気づき見て見ぬふりをすが、ふとなにを思ったか観衆の前へ進み出て、観衆とともに「この不幸な者の魂を救いたまえ」と、いかにも痛々しげに声をはりあげて祈りを捧げたあと、終末の世の到来を神にむかって叫びながら退場する。

㉑パリサイ人がまた登場。血まみれの男を見つけると、知らぬふりして通り過ぎかけて立ちどまり、このような兇悪な暴力事件が量産される社会的、構造的な矛盾と人間の非人道的な残酷さについて社会理論をひきあいに出して痛烈な論評を一ぱつぶつたあと、舌打ちしながらこっそり退場する。

㉒両替人がふたたび登場。血まみれの男を見るや、金持ち特有の同情心を示す。慈善事業の必要性和福祉国家建設の重要性を強調しつつ、血まみれの男の将来を財政的に支援すべき機構をつくりひいては全ガリラヤ的、全国的、凡世界的な募金運動を展開しようと呼

肉体を冒瀆する淪落行為はサタンの行為であり、あまつさえ聖なる安息日に罪を犯して悔い改めることを知らぬその女の靈魂は、どういかに救いを受けるに値しないものだと神に驚い、祈る。

㉓兵士が進み出て、淪落行為の不法性と非人間性をとがめ、五十余回を越える前科をもつ被告はこれ以上矯正の余地すらない反社会的、反宗教的悪質分子であると、法律の条項をあけて論告する。

㉔群衆の多数が娼婦のところに詰めよって殴るけるの暴行を加える。暴行の度が過ぎると防犯隊員が止めに入る。

㉕兵士が群衆をしずめてから、両替人、パリサイ人、祭司長らと解決策を話し合う。彼ら自身に任せるのが上策だということに話がまとまる。兵士が娼婦の問題は法的、行政的に善導する方法がないことを判示し、群衆に向かつて自分たちで処理するよう言い渡して退場する。パリサイ人、祭司長、両替人もつづいてそそくさと退場する。

㉖群衆は災禍をおそれ、石でたたき殺してしまえとわめき立てる。群衆の中の一人が進み出て「貧しい者は貧しい者どうして生きていくよりほかにないのだ。この女の姿はわれ

び、銅銭一枚を投げあたえて退場する。

㉗乞食がまた登場。あたりを窺う。ふと血まみれの男に気づき、同志的な人間愛にめざめる。だれの仕業かしらんが、半殺しにしてやる、と憤りながら、ひとまず上衣を脱いでかぶせてやっつてから退場し、びっこを一人つれてまた登場、血まみれの男を一人でかかえて酒盛りの家に向かう。

㉘虐げられたさまざまのはらからたちが入り乱れておどろき戯れる。女たちはだれかまわらず体をゆだねる。何人が子どもを追散らそうとするのを群衆の中から一人が出てきて止める。らい病やみ、びっこ、乞食、日雇たちが各人各様のしぐさでひととくさりずつおどって興じる。「貧しきもの、はらからは幸なれ」をみんなであうたい、雰囲気が高潮に盛りあがる瞬間。

㉙酒飲み二人が一目散にかけつけてきて、いっしょにおどつていた娼婦の一人が防犯隊員に引っぱられていったことを知らせる。場がざわめきだす。酒飲みの一人が進み出て、みんなを押しかけていって抗議しようと扇動する。もう一人の酒飲みが、あの女のおかけで興がさめてしまったと不平をいう。みながひと言ずつ吐く。その娼婦を罵りはじめる。

われすべての姿である。この女を見捨てるれば、われわれ自身を見捨てることになるのだ」といって、群衆を一つ一つ説得していく。娼婦がしずかに眼をあげて彼の顔を見つめながら体を起こそうとするが、うつ伏せにたおれる。彼が娼婦のそばにかけよって身を起こしてやる。彼が娼婦と対舞をおどりはじめると、群衆もみな、だんだんそれに加わってふたたび群衆の輪がひろがっていく。「われらは地の人だ」をうたう。

2 のマダン・エルサレム人の酒盛り

2 のマダンは、1 のマダンと完全に対比される(富める者たちの酒盛り)である。彼ら富める者たちは自分たちが所有しているものを人生の窮極的な目的であると、自信満々な雄弁でもって強調する。彼らの登場は正々堂堂としており、多少傲慢で、きまつて自分の出世をひけらかすが、実をいってそれはまた大部分の観客が抱いている実際の生活目標にあい通ずるところがないでもない。したがって、彼らが得意然として自慢話をたらたら並べるくだりも、ただ滑稽に演じればよいというより観客の同意を求める形を主にすべきで

はあるが、同時にその動作が決定的に戯画化される必要がある。彼らの踊りは優美ではあるがいさか退屈で生命感に乏しく、ときには軽率に過ぎる。

①四人の女（ローマの歌舞に堪能な女、美貌では人後に落ちない女、持参金が多すぎてもてあましている女、ギリシヤ式の最高教育を受けた人から教育を受けた女）が客席から登場し、めいめい自慢のほどをひけらかしておどる。最初はひじょうにゆっくりとした、端様な動作でおどっているが、急に拍子がおどってわけのわからぬ騒乱舞にかわる。

②祭司長が登場。すこぶる温和な笑みを浮かべながら女たちの踊を制止し、自分ばかりの人間の靈魂を支配する者であるから、わたしを訪ねてくる者のみが天国へ行くことができるのだ、いつの時代にも靈魂を支配した者こそ真の支配者であるのだ、ながながと説教調で述べたて、『おまえたちの靈魂はわたしのもの』という歌をうたつてからおどりと出すと、女たちがこれに合流する。

③両替人が登場。財閥特有の傲慢さと余裕を見せ、一席長広舌をぶつ。この世はすべてカネで興りカネで亡びる。どんな世の中でもカネなくしてできることはないし、カネでも

つてできないことはないことくらい、みなさんご自身とくとご承知のはずだ。カネでなら神さまだって買えるっていうもの。『カネのない世の中は死の世の中』という歌をうたい、カネの踊をおどりだすと、女たちもひきつられておどる。

④剣を持ったピラトが登場。剣を振りかざしてあたりを鎮め、この剣の前ではだれであれ容赦はせぬ、と大声で叫ぶ。命が危いというのに靈魂やカネもへちまもなんの役に立つか。観客に向かつて、気にくわねばどいつもこいつもバサツと一刀両断、なぎ倒してやるぞとおどしをかけてから『剣の歌』をうたつて剣舞をおどりだすと、女たちがまたまつわる。

⑤このとき、パリサイ人が巻き舌の正確な発音で『The pen is mightier than the sword』をくり返し叫びながら登場。しよせん知は力なりと主張。カネや力があつたつて、またいくら折つてみたところで無識ではなんにも見えないめくらも同然、だから剣よりペンは強しというわけさ。わたしの知識でもって窮めずしてはだれも天国へ行けはしないのだからカネをもうけたつてなになるかと叫ぶ。歌『知は力』をうたい、字を書く真似の踊をおど

くる。四人の女たちは魅せられて知らず知らずイエスの踊に吸い込まれていく。富める者たちはおどろき、奪い取られた女を取り戻そうとするがうまくいかない。イエスがこのように『ガリラヤの民の踊』でもって場を圧倒するや、富める者たちはイエスをおそれ嘆服し、イエスを自分たちの側にひき入れようと企んであれこれ手をつくす。

⑦祭司長がイエスに近寄つてイエスの踊を真似ておどるが、うまくついていけない。イエスが『あなたは悪霊にとりつかれていて、いのでできないのだ』と叱つて口惜しがる祭司長の頭に手をのせると、祭司長は頭をかかえて『それはわたしの命のようなもの、ご勘弁を』と叫んで逃げていく。

⑧逃げていく祭司長を見てあざわらう三人。彼らも先を競つてイエスの教えを乞おうとする。両替人がイエスのそばに行き、いっしょに対舞をおどるがやはり思うようにいかない。するとイエスがおどるのをやめて『おまえの持っている財産を捨てなさい』と忠告するや、両替人は魂飛魂散、逃げ失せる。

⑨ピラトがイエスに近寄り、イエスの踊を真似ておどるがやはり駄目である。イエスが『おどるのをやめて』剣を捨てなさい』といま

しめる。ピラトは、それだけではできないと叫んでさつさと退場する。

⑩一人とり残されたパリサイ人。そのまま立ち去るわけにもいかず、もじもじと顔色を窺う。イエスが彼に近寄るやいきなり『この寄生虫め、おまえは知つていながら自分で自分を見捨てたのだ』と腹立たしく叱咤すると、パリサイ人はおつたまげて逃げ去る。

⑪逃げ去つた者たちを憐れむイエス。しばし懐疑にうち沈む。四人の女たちがイエスのそばにきて踊を催促するが、イエスはふり向きもしない。イエスは自分にふりかかる受難を予感する。女たちに、どこへなり行くがよい、おまえたちはわたしを見捨ててであろうと告げて退場する。

3のマダン・死への道、ゴルゴダ

①群衆たちがイエスをとり囲んで喊声をおどる、ぐるぐるおどりまわる。数人が出てきてイエスを胸上げし、イエスの手と足を高くかかげたりしながら場内をめぐり歩く。歡喜にわき立つている群衆。まるで田舎の国民学校〔小学校〕の運動会のようにだ。『われらの王、イエス』をうたい、抑圧者、悪人どもをこら

りだすと、女たちがつられておどりに加わる。このようにカバヤ、両替人、ピラト、パリサイ人が女たちとそれぞれ対を組み、奪いあいひつつきあいしながら淫らにおどり戯れる。かくしてエルサレム体制は完成され、『われらは君臨する』を合唱する。

⑥イエスが病やみ、不具者、貧しい人びとの姿を模した踊をおどりながら登場する。イエスが突拍子もなく奇怪な踊をおどるためたので一同びっくりし、富める者特有の防衛体制をとつてひそひそささやきあうが、また威厳をとりなおして口ぐちにどなりつける。ピラトがイエスのそばへ寄つていき、神聖なる饗宴に忍びこんでくるとは不埒な野郎め、とつとと消え失せるとなる。イエスは怖じけるどころか、おどっているのを見るとじつとしていられない性なので、そのまま通り過ぎるなどできるもんですかとい返し、あなた方の踊は死体の腐った臭いがぶんぶんして息もできないから、こんな踊をおどつてみたらいいがかなといつておどります。それは、汗と涙と苦痛で生きるより外にすべのない者たちの踊であり、醜悪に見えるけれども生命力に充ちあふれた踊である。時間がたつにつれて踊はますます活気を帯びて磨きがかかつて

1980年5月・光州

スライド
倒れた者への祈禱
制作・火種プロ

友よ、あなたも種播く人となつて、乾いた土に、光州の熱い心の種子をまいてください。いつの日か、芽ぶくため、そのねがいをこめて、私たちは、このスライドを制作いたしました。

このスライドがいたるところの集会で上映され火種となつてゆくことをねがっています。

カセット・テープ付
カセット・テープ付
一万七千円 貸出料五千円

倒れた者への祈禱
画面集
絵・富山妙子
レイアウト・及部克人
八百円 千二百円

倒れた者への祈禱
レコード
音楽・高橋悠治
六百円 千二百円

火種プロ 東京都世田谷区桜丘4-16-2 ☎03-425-6095 振替口座 東京7-37311

じめてわれわれに腹いっぱい食べさせてくれと叫ぶ。イエスが拒む。群衆の絶対的な歓迎に包まれながらも、自分にかげられた彼らの現実的な期待を否む。みすばらしい元の姿に戻ろうとするイエスを群衆は許さない。イエスは逃げるように身をひそめるがばれてしまう。イエスは悩み苦しむ、仕方なしに群衆の求めに一面応じようとするが、今にも泣き出しそうである。群衆はイエスを慰め、涙をふいてやり、勇気を出せと励まし、なおもしつつこく現実的な救世主として君臨することを求める。イエスが急に狂ったように頭をふりながら不具者踊をおどりだす。おどりがら才談で、それは神のみ告げに背くものだと断固たる態度を見せる。群衆たちはどうしてもイエスの不具者踊を押し止めることができず、失望しはじめ。イエスが彼らをなぐさめ、みんなで楽しくおどろうと暖かい手をさしのべる。群衆たちは口々に罵りながらイエスから離れていく。一人(ユダ)が進み出てイエスを指さし、イエスは民衆を売り渡し、なにもしないでただおどって遊ぶことばかり主張する裏切者なのだと扇動する。イエスは彼をゆるし、別の生きる道があることを説く。群衆はユダのところへ集まってイ

エスから完全に離れていき、絶望する。イエスと群衆のあいだはだんだん対立的な関係にかわっていく。露骨にあざけり罵る。「卑怯者め、父親がだれかもわからぬ犬畜生め、さつさと消え失せろ。」群衆は怒って悪態のかぎりをつくして罵り、イエスがさしのべる手をふり切って退場してしまふ。イエスは苛酷な運命を嘆きながら、くずれるようにうずくまる。

②(ゲッセマネ)イエスがしずかに身を起す。だれもないことに気づく。歎びの声をあげていた群衆の面影を追ってあたりをうろつき、泣きわめく。やたらわんわんと泣きわめく。泣きつづけているうちに、自分を離れていくとき敵意と怒りをこめて罵っていた群衆たちの合唱『裏切者イエスよ』が聞こえてきて、さらに彼を苦しめる。その合唱を伴奏に、イエスの独舞がはじまる。自分の選んだ道は正しいのか。ほんとうに自分は民衆に背いたのではないのか。懷疑にうち沈んでいくとき、ユダの悶え苦しむ眼差が突き刺さってくる。もう避けはしない。故治的プログラムはわたしの道ではない。最後のたたかいの武器、あわれな死のみがわたしの道だ。生きる道はそれしかないのだ。死の踊。だが、

死へと向かう途中、嘲弄を浴びせながらも絶望していた民衆の二つの姿が重なって浮かんでくる。幸せそうに見えた群衆。自分についてきた多くのガリラヤの虐げられた人びと。美しい思い出が甦ってくる。生きのびてなすべきことは果たさねば。この盃は避けることもできるのだ。遠のいていくなつかしい人びとの顔、故郷への想い。しかし、よろこび迎えてくれた隣人の中にエルサレム体制人の虚偽を見る。虐げられたはらからたちのとわなる祝福のために、迷わず選ぶべきだと確信する。たたかう意欲に燃える。それは最後の武器、死なのだ。悟る。死によって自分にうちかち、解放すること、『死への突進』の強烈な踊がはじまる。歓喜と跳躍の踊。

③ユダが一方の側に登場している。イエスにたいしてとつた自分の態度は、あくまで群衆の意思を反映したものだと確信している。これからも自分のとる行為はただ群衆の意思を代行するだけだと自分にいい聞かせる。イエスにたいする未練はきつぱりと捨て去るべきだ。群衆に背いたのはまさしくイエスなのだ。群衆の名において重ねて表明する。ユダはイエスに気づくとときまり悪そうに作り笑いをみせる。イエスにたいするうしろめ

たさをはらいのけようと必死になりながら、イエスと対舞をおどる。双方の立場が併行しえないこと、まっとうから対決してたたかわざるをえないことがはつきりし、たがいにも歩も譲らない。ユダがイエスにたいして、もう一度戻ってくるようにと最後の懇願をするが、イエスは拒む。ユダは意を決したかのごとく退場する。イエスがひとり残って独白。「われわれすべてが死によって新たに生まれかわらねば、あの人びとの苦しみと犠牲は永遠に止みはしないだろう」

④ユダの指揮下に群衆たちが登場する。ユダがイエスに近寄って、最後の口づけをする。群衆がかけより、イエスを縛りつける。殴るけるの暴行を加える。イエスは群衆たちにひきずりまわされて倒れる。群衆のあいだで共犯者の摘出がはじまる。群衆の中に身をひそめているペテロをはじめ弟子たちは逃げかくれたり、裏で取引をしたりしながら危機をまぬがれる。ペテロが証としてイエスを呪う。

⑤ピラト、カバヤ、両替人、バリサイ人などが順に登場してイエスを審問、脅迫、懐柔、嘲弄するが、イエスは沈黙を守りとおす。群衆がこれに加勢して騒ぎ、処刑を強く迫る。自分たちの手でただちに処刑してやる、と叫

ぶ。修羅場の中のイエス。気力も尽き、やつれ果てた姿で彼らに身をまかせ。群衆はイエスの処刑とバラバの釈放を交換条件として示す。「民族的英雄、バラバ!」の喊声が多どろく。

⑥イエスとバラバの通房(隣房の囚人どうしが暗号などでもって話しあうこと)。対舞形式である。バラバのために群衆がうたう喊声のような合唱が聞こえるなかで、バラバが語る。非現実的で迂回的なものはまさしく民衆の敵なのだ。あなたの立場は現実の民族的闘争では断固として排除されるべき超越主義であると主張する。イエスがバラバを庇ってやる。バラバはイエスに力を合わせていっしょにたたかおうと説得する。イエスは「わたしはあなた、バラバを愛している。あなたの民族をわたしも愛している。だが、圧制と苦難はあまりにも頑強である。われわれみなが愛のために死んでふたたび生きかわらずしては、けつして悪から解放されはしないのだ。わたしの道を援けよ。わたしを惑わさないでほしい」と哀願する。バラバは、イエスとは結合できないことを残念がる。そして最後まで生きのびてたかう決意を固め、女々しく死んでいこうとするイエスの終局を呪う。イ

エスがバラバに、ガリラヤのあの虐げられた者たちの酒盛りの場でまた会おうと同意を求め、バラバはイエスに背を向ける。

⑦イエスは群衆とローマ兵士にとりまかれ、たまたま十字架を背負って死の道につく。この場面はイエスと群衆の葛藤を分化し、同時進行させるようにする。群衆は最後の嘲弄と呪いを吐きかけ、足で蹴りたおす。イエスが倒れる。苦しみにみちた姿だ。絶望と敗北感をふり切って起きあがろうともがき、十字架が揺れる。死をみずから進んで受け入れた人のあのやすらぎがよぎっていく。やがて十字架が立てられ、イエスが縛りつけられる。釘を打つ音がひびきわたる。絶望と歓喜、挫折と確信、苦しみとやすらぎ、涙とほほ笑みが入り混じる中で、最後のたたかいが「主よ、わたしをお見捨てになつたのですか」の悲鳴とともに終りを遂げる。空を仰いでいた顔がおだやかな表情を浮かべながら、うなだれる。

エピローグ

①(ながい板輿の行列)十字架にゆわえつけた白木綿をにぎりしめて、ガリラヤのはらからたちが長い行列をつくる。弔いの歌がひび

きわたると、はらからたちは白木綿を肩にかけて柩をかつぎ、先の者が唱うとあとをみんなが復唱し、行きつ戻りつしながら観衆のあいだを通り過ぎていく。ときどき鈴の音が鳴る。観衆たちも席を立てて白木綿をにぎり、ともに唱和しながらあとにつづく。

(地固め)柩輿の行列がふたたび場内に戻ってきて、地固めの歌に合わせて足をあげさげしながら墓土を力いっぱい踏みしめる。イエスを殺したのはまた自分自身の死でもあることを、地固めの労働を通してつくづく悟るのである。

②ガリラヤのはらからたちが、めいめい自分の十字架を持ってあちこちで起きあがる。新しい芽が土の中から頭をもたげるかのよう。へびの体内で眼をさましたひきがえるの子らがへびの皮をつきやぶってぞろぞろ出てくるように。次から次へ十字架が生まれ出てくる。イエスの死が新しい生命となつてふき出す。新しい世の中の主人公となつたガリラヤのはらからたち。各自に十字架をかかげて集まってきて勝利の歌をうたい、おどる。にぎやかな歌と踊でわかえる。いにしえのガリラヤの虚げられた者たちの酒盛りでのように。

編集後記

日本の大根は、定規でそろえたようにまっすぐで、かたちがととのつていけるけれど、ひっぱれば、するするとぬけてくる。朝鮮の大根は、石にあたればまがり、とちゅうに穴があいていても、地にしっかりと根をはって、ぬきとることがむずかしい。

マダン劇の台本をみて、このはなしをおもいだしました。大きく、うつくしく、りっぱなものが、異様で、みにくく、いやしいものにやつつけられるのが、昔からの民衆劇です。あらゆる価値がひっくりかえる過程が、目の前で演じられる、めざめの劇です。支配者のりっぱなことは信用できない。ことばではなく、歌とおどりが、この転換を実現するのも当然におもえます。

今号では、予定を変更して、光州事態拘束者家族の手紙をいれました。次号からは、高銀の評論を連載するつもりです。

水牛楽団は、一月二日に山谷越冬闘争支援にいき、二十三日は「金大中氏らを殺すな」杉並市民集會に参加しました。来月からは、楽団のページをつくって報告します。アジアの歌を中心にカセットもつくる予定です。

購読の御案内

*本誌は書店にはおきません。毎号確実に入手されるためには編集部あて予約購読の申し込みをしてください。発刊と同時に直送します。

*申し込みと送金は郵便振替(口座名 水牛編集委員会、口座番号東京四一九一七九二)または現金書留でお願いします。住所、氏名、電話番号、何号からということを明記してください。

*購読料は送料とも一年分三〇〇〇円、半年分一八〇〇円です。

水牛通信 第三卷第二号

一九八一年二月十日発行
定価 二〇〇円

発行人 堀田正彦

発行所 水牛編集委員会

〒154東京都世田谷区新町2-15-3

八巻方

電話〇三(四二五)九六五八

振替口座東京四一九一七九二

印刷所 俣トライプリントショップ